



第7回 かながわ教育学講座



令和元年 11月 10日 (日)、総合教育センターにおいて第7回かながわ教育学講座を開講しました。今回のテーマは「道徳教育」です。前半は大講堂で講義を聞き、後半は各教室に分かれてグループ活動を行いました。

道徳教育



前半は、総合教育センター 教育人材育成課 赤井 諭 教育指導員による「道徳教育」の講義を行いました。

学校における道徳教育は、「特別の教科 道徳科」の授業を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、各教科、外国語活動、総合的な学習（探究）の時間、特別活動、日常の児童・生徒指導を通して適切に指導することが大切です。また、道徳が教科化したことをきっかけに、これまでの道徳から、児童・生徒が真剣に考え合う授業、つまり「考え、議論する道徳」へと変えていくことが求められています。

「考え、議論する道徳」の授業づくりの視点として、「登場人物の読み取りだけの授業にならないようにすること」、「児童・生徒にとって、わかりきっていることを教えない」こと、「本気で考えさせる授業にすること」、「児童・生徒が主役の授業にすること」を挙げ、指導者がこれらの視点を常に持っていることが大切です。そして、「特別の教科 道徳」の評価を行う際の基本的な考え方について説明がありました。道徳科の評価は、学習状況や道徳性に係る様子を把握し、継続的な視点で評価していきます。数値などによる評価は行わず、記述によって「多面的、多角的な見方へと発展させているか」ということ、「自分自身とのかかわりの中で深めているか」ということに着目し、示していくことが重要です。

最後に、「これからの社会は価値が多様化し、情報化がさらに進み、予測困難な時代になっていきます。このような社会を生きていくために、子どもたちには『自分の生き方を選び取っていく力』が必要です。これからの日本の未来を作っていくのは子どもたちです。そして、子どもたちを道徳教育によって豊かな人間にしていくのは皆さんです。道徳教育を充実させ日本の未来を作っていくほしい。」と受講者に熱い言葉が贈られました。



赤井 諭 教育指導員

【いのちの授業】

神奈川県すべての学校では、道徳の時間をはじめとして、あらゆる教育活動を通して子どもたちに『いのち』のかけがえのなさや、夢や希望をもって生きること、人への思いやり、互いに支え合って生きることの大切さなどを実感してもらうために『いのちの授業』を行っています。子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化する現在、いじめや自殺等が全国的に大きな課題となっている中、「いのちの授業」の必要性・重要性はますます高まっています。県教育委員会では、「ともに生きるかながわ憲章」の理念を踏まえ、ハンドブックが平成29年12月に作成（平成30年12月改訂）されました。第8回かながわ教育学講座で、平成29年度版を配付しますので、こちらも一読してみたいかがでしょうか。



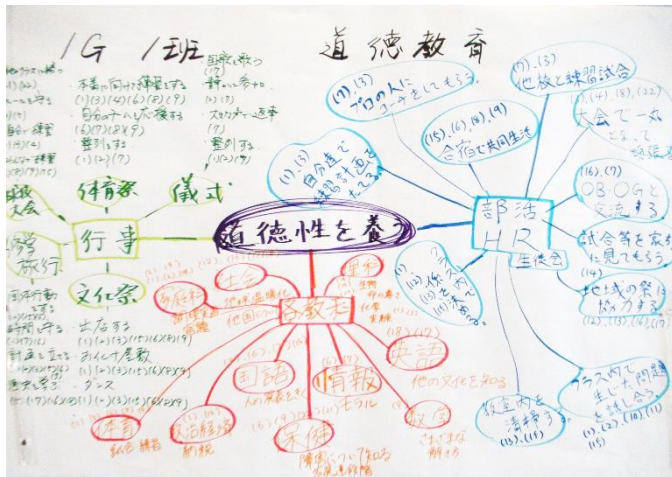
グループ活動



講義終了後には、各研修室に分かれてグループ活動を行いました。前半の講義の内容を受けて、道徳教育と教育活動の関わりについてグループで協議を行い、道徳教育や道徳科の授業を充実させるために教員として意識することについて考えを深めました。

はじめに、模造紙の中央に道徳教育の目標を書き、学校で行われる教育活動にはどのようなものがあるのか具体的に考え、3つの場面に絞りました。次に、選んだ教育活動の場面で、考えられる子どもの活動や姿を具体的に考え、模造紙に書き込みました。その後、予想される子どもの活動や姿は、道徳科の内容項目とどのようにつながっているのかを考え、書き足していきました。受講者は、実践力向上講座やスクールライフサポーター、その他のボランティア等での経験をいかして考えている様子がありました。模造紙にまとめたことで、道徳教育が学校教育全体を通じて行われていることを実感し、道徳教育や道徳科の授業を充実していくことの重要性について理解できたことと思います。最後は、発表をしました。聞き手の反応を確かめながら発表する姿から、班でまとめた考えを分かりやすく伝えようという気持ちが伝わってきました。

受講者は今回の講座を通して、いま求められる道徳教育や道徳科の授業について理解し、教員として意識することについて考えを深めることができたことと思います。



受講者の感想から

- 多面的、多角的にというのが、とても心に残りました。学級、個人に合わせながらみんなで考えることができるようにするには、どのようにしたらよいのかなど、考えることがたくさんあると思いました。
- 赤井先生の仰っていた「自分の生き方を選び取っていく力を身に付けさせる」という考え方は、授業づくりに役立つと思いました。
- 中心発問を考えるワークでは議論することができ、より学びを深められました。

